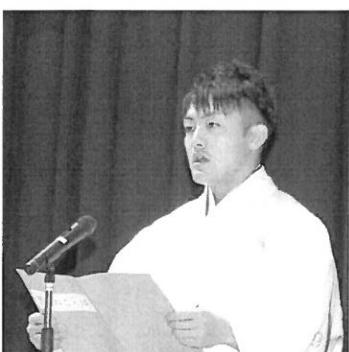


# 思い出の日々を誇りに、二十歳の誓いを胸に ～平成27年東通村成人式～



## メッセージを送る越善村長



## 誓いの言葉を述べる相内さん

懐かしい学び舎の教室や廊下、体育館を晴れ着姿で巡りながら、同級生との久しぶりの再会に笑顔がこぼれていました。式では越善靖夫村長が式辞を述べ、「これからは社会の一員として、自らの判断で行動する」とが今まで以上に求められます。自分の行動には必ずそれに応じた責任が伴うことを自覚していくいただき、搖るぎない信念と決意で未来を切り拓いていただ

1月12日の成人の日、当村で成人を迎えた60名（男33名、女27名）のうち36名が出席しました。

「きたい」とメツセージを送りました。また、来賓を代表して小笠原清春村議会議長から祝辞があり、新成人の皆さんには真剣な眼差しで耳を傾けていました。

その後、新成人を代表して竹林花依さんへ記念品が贈呈され、式の最後には、相内京介さんが誓いの言葉を述べました。

相内さんは、統合した東通中学校で新たな伝統と校風を築くため、学年を超えて様々な取り組みを行ったことに触れながら、「このことがその後の私たちの大きな支えとなっています。後輩たちが輝かしい歴史を積み重ねている様子を目の当たりにし、私達ももっと成長しなくてはならない」と気持ちを新たにしました。東通中学校で過ごした日々を誇りに、後に続く後輩た

ちの見本となるような社会人を目指していきます」と力強い声で誓いました。



真剣な眼差しで式に臨んでいました



恩師や同級生との再会に笑顔が絶えない成人式でした